



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小 2月号

大北がより

学校評価③

令和4年 2月 1日
練馬区立大泉北小学校
校長 松井 貴子

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

令和3年度保護者アンケート学校評価結果

校長 松井 貴子

令和3年12月に保護者の皆様に学校評価アンケート21項目について回答していただき、458家庭中331、回収率約72%でした。御多用の中、御協力ありがとうございました。

皆様のからの貴重な評価を参考にしながら、今後の教育活動の改善に努めてまいります。

結果について【肯定的な回答が80%以上の項目】(令和2年度数値) 令和3年度数値

- 1 お子様は、楽しく学校に通っている。(86%) ↑95%
- 2 お子様は、友達と仲良く生活している。(87%) ↑97%
- 5 学校は、ICT等を活用し、分かりやすい授業や楽しい授業に努めている。(76%) ↑82%
- 7 学校は、道徳の授業や読書活動等のさまざまな教育活動を通して、子供たちの心を育てている。(74%) ↑90%
- 10 お子様は、SNSルール等を守り、心身の健康を大切にしている。(新設) 87%
- 11 お子様は、集団生活のきまりを理解し、責任をもった行動ができる。(78%) ↑92%
- 12 学校は、いじめを許さず、一人一人に居場所のある温かい人間関係を築く教育を保護者や関係機関とすすめている。(59%) ↑81%
- 14 お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身に付いている。(74%) ↑84%
- 15 学校は、教育目標及び方針、教育活動を分かりやすく伝えている。(ホームページ・学校便り・動画配信・メール配信等) (78%) ↑83%
- 18 学校は、学校施設の整備や校内環境美化に努めている。(65%) ↑82%
- 21 学校は、保護者と協力し感染予防に留意して健康づくり、体力づくりに取り組んでいる。(77%) ↑88%

結果について【肯定的な回答が80%未満の項目】(令和2年度数値) 太字令和3年度

- 3 お子様は、目標や夢をもって生活している。(新設) 70%
- 4 お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。(73%) ↑79%
- 6 お子様は、個々の学習課題に応じた学習計画を立て、意欲的に学んでいる。(68%) =68%
- 8 学校は、体力向上や健康・安全に関する取組をしている。(77%) ÷78%
- 9 お子様は、場に応じた挨拶や傾聴の姿勢が身に付いている。(61%) ↑78%
- 13 「大北小スタンダード」や家庭学習ガイドライン等を活用し家庭学習の習慣が身に付いている。(60%) ↑66%
- 16 学校・家庭・地域が連携・協力し「目指す15歳の姿」を意識した多様な教育活動をしている。(新設) 64%
- 17 学校は、学校図書館の活用や読書活動を推進し「言葉の力」を身に付け、自ら判断し行動する子供を育てている。(新設) 72%
- 19 学校・家庭・地域が連携、協力し「自分の身は自分で守る」安全教育を推進している。(PTA活動・保護者・ボランティア・応援団活動・地域行事等) (63%) ↑76%
- 20 学校は、心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・あおぞらルーム・養護教諭等、さまざまな相談できるところがあり、連絡や相談をしやすい。(60%) ↑79%

結果の考察

年度の初めに学校グランドデザインをお示しし、コロナ禍で学校公開があまり実施できない状況ではございましたが、学校の状況について学校便り等で月 2 回以上お知らせし、ご家庭との連携を大切にしたいハイブリッド型の教育活動の実施をしてまいりました。

また、昨年度の評価で分からないや無回答が多かった項目は、より分かりやすくなるように、アンダー波線のような項目の文言を変更いたしました。おかげさまで 16 の項目で改善を図ることができ、その中でも 10 の項目では肯定的な回答が 10%以上上昇、確実な成果を上げることができました。心より感謝申し上げます。

約 20%近く評価が上がったのは、学校は連絡相談しやすい、いじめを許さず、一人一人に居場所のある温かい人間関係を築く教育を保護者や関係機関とすすめているなどの項目です。大人が自らお手本となるように挨拶の励行と傾聴の姿勢に努めていることが、同じく評価が上がった「子供たちの場に応じた挨拶や傾聴の姿勢が身に付いている」につながっていると捉えています。

「元気な挨拶」と「傾聴の姿勢」は、保護者の皆様と共に重点として取り組んでまいります。

【学習意欲の向上に向けて】

令和 2 年度「学校は、学力向上のために意欲的に教育活動に取り組んでいる。」の項目について本年度は、経営方針でお示したように、自らの学びを調整する力を子供に付けることを重点に考え、「お子様は、個々の学習課題に応じた学習計画を立て、意欲的に学んでいる。」と項目を具体的にしました。

本年度の教育活動の具体的な取組としては、年 4 回算数得点アップウィークを実施し、個々の課題について計画的に学習しています。また、ICT を活用した情報活用能力の向上に関わる教育活動を展開してきました。さらに、特別支援教育の教育内容の周知を図り、自分自身の学びについて振り返り考えて行動する学習習慣、感情のコントロールやコミュニケーション能力を高める方法等を取り入れることで、学習意欲の向上を図ることにも精力的に取り組んでいるところです。

次年度も、個別最適な学びの充実を図り、一人一人の児童の資質・能力の向上に向けた教育活動を実施してまいります。

【新設 4 項目について】

新設の 10 については高い評価をいただきましたが、一人一台タブレット端末活用の推進に伴い情報モラル教育を今まで以上に意識して安全教育を実施していく必要があります。低学年からの情報モラル教育を系統的に実施したり、改訂版「大北小スタンダード」を作成し日常的に指導を実施したりして、心身の健康増進に保護者の方々と協力して取り組んでいきたいと存じます。

新設の 3 と 16 については、本年度の取り組み内容をお知らせするとともに、次年度「キャリア教育」として計画的に工夫した教育活動を展開してまいります。子供たちが自分の生き方を考え、目標や夢をもって生活することは全ての学習意欲の根幹になると考えます。

令和 2 年度に示された小中一貫教育の「目指す 15 歳の姿」を意識した多様な教育については、コロナ禍、児童・生徒の直接交流活動などができず成果が見えにくくなっております。次年度は ICT を活用した新たな取組を企画したり、一部教科担任制などを取り入れた指導体制の工夫促進に取り組んだりしてまいります。

新設 17 については、「言葉の力」(＝情報を正確に理解した上で相手の表現の意図や背景を推論し根拠を挙げて自分の考えを述べ話し合っって課題を解決する力)を身に付けていけるよう、学校図書館の活用や読書活動を引き続き計画的に実施するとともに、主体的・対話的で深い学びの授業を実施する中で言語活動を充実させ、意図的に高めてまいります。